福祉実践教室を開催しています

～いろいろな福祉体験をいかしてね～

社会福祉協議会では、市内の小・中・高等学校の中から社会福祉について学び、各種事業に取り組んでいただく福祉推進校を指定しています。

今年度は66校を指定し、そのうち小学校 40 校、中学校 19 校で車いす、手話、要約筆記、点字、視覚障害者ガイドヘルプ等の福祉実践教室が行われています。皆さんの真剣に取り組む姿を見ていると、限られた時間ではありますが、これからの未来を担っていく子どもたちが、体験を通じて少しでも福祉とは何か、自分たちにできることは何かを感じ取ってくれることを期待しています。

点字

視覚障害者ガイドヘルプ

車いす

手　話

要約筆記

ちょっと嬉しくなった話…

福祉実践教室開催から数日後、ある中学校の生徒さんから講師の方にお礼文が届きました。視覚障害者の講師の方に宛てたお礼文は、紙に書かれたものと CD でした。

早速お渡ししたところ、とても喜ばれ、学校にお電話されました。発案者を先生に尋ねたところ、生徒さんの方から、目が見えないので紙のお礼文では伝わらないため CD で渡したいと意見がでたそうです。

講師の方は二重の喜びだったとのことでした。福祉実践教室では、子どもたちに自分達で想像して、考え、行動する力を持って欲しいと伝えていたこの講師の方。子ども達にも伝わった瞬間を共有することができ、嬉しく思った出来事でした。

（福祉実践教室担当職員）